

い
「四季かおる つながり 安心 活きるまち」の実現に向けて
＝着実に動き出した蓮田市＝
～子育て・教育・基盤整備を中心に～

1. 新型コロナウイルス感染症対策について…1p
2. 蓮田駅西口第一種市街地再開発事業について…2p
3. 東北自動車道 新蓮田サービスエリア(上り線)及びスマート IC のフルインター化について…4p
4. 蓮田都市計画事業(仮称)高虫西部地区土地区画整理事業について…6p
5. 蓮田駅西口通線延伸工事について…7p
6. 県道蓮田鴻巣線歩道整備事業について…7p
7. 県道蓮田杉戸線整備事業について…7p
8. 東埼玉病院周辺整備について…8p
9. 蓮田松韻高校までのバス路線の延伸について…8p
10. ほ場整備事業「県営」閩戸地区の概要…9p
11. 蓮田市役所西棟新築工事について…10p
12. 保育園の建設、こども医療費の助成…11p
13. 小・中学校の状況…14p
14. 国指定史跡黒浜貝塚の整備について…15p
15. 蓮田市総合文化会館ハストピアの概要…18p
16. 街路灯LED化について…19p
17. 在宅医療・在宅介護事業の推進…20p
18. 山ノ神沼周辺について…21p
19. 黒浜沼周辺の整備について…21p
20. 環境学習館Ⅱ期工事について…23p
21. はなみずき作業所新築計画…24p
22. 上野東京ラインの開業について…24p
23. 蓮田市の財政状況…25p

1. 新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症対策に取り組む主な事業

新型コロナウイルス感染症対策につきましては、「蓮田市新型コロナウイルス対策本部会議」を設置し、6月までに69回の会議を重ね、市の感染症対策の方針を決定し、全庁的に取り組んでまいりました。

市民の皆様への生活支援としては、水道料金の基本料金とメーター使用料の減額、有料指定ごみ袋の無料配布を実施し、経済支援としては、小規模事業者等支援金、家賃支援金の交付、新生児特別定額給付金等を実施してまいりました。

また、県内でいち早くアイソレータを導入し、感染防止を徹底しながらの救急搬送を行っており、PCR検査への移動手段がない方に対しては、ネットトヨタ東埼玉株式会社から無償貸与している飛沫循環抑制車両を活用し、送迎サービスを実施しております。

今後は、ワクチン接種の進捗状況を踏まえ、経済活動の迅速な再開に向けての支援、さらには新型コロナウイルス収束後を見据えた、総合的な施策についても、推し進めてまいります。

ワクチン接種の状況

◆新型コロナウイルスワクチン接種を実施しています

5月14日から、総合市民体育館（パルシー）での集団接種、6月7日からは市内21か所の医療機関での個別接種を行っています。現在、65歳以上の高齢者の方に対し、7月中の接種終了を目指して取り組んでいます。市民の皆様が、安心してコロナワクチン接種ができるよう、年齢ごとに、段階的に進めています。

◆新型コロナウイルスワクチン接種クーポン券を順次発送しています

コロナワクチン接種は、国で定めた優先接種の順位に沿って実施しています。市民の皆様が、安心して接種できるよう、段階的にクーポン券を送付しています。

6月30日には、50歳以上の方にクーポン券を発送しました。7月上旬以降には、49歳から13歳の方に、クーポン券を送付いたします。

2. 蓮田駅西口第一種市街地再開発事業について

事業の概要

再開発事業の3本の柱のうち、幹線道路及び駅前広場は平成25年3月までに完成し、最後の柱となる再開発ビルが令和2年10月に完成しました。

令和3年3月に区域内の緑地整備、事業の清算が完了し、昭和60年の都市計画決定から35年を経て、蓮田駅西口第一種市街地再開発事業が完了しました。

再開発ビルの概要

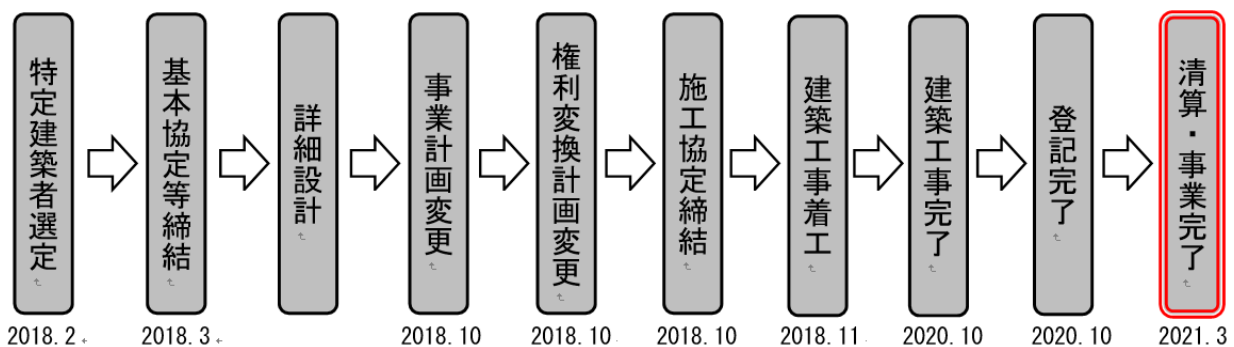
敷地面積	6,821.11 m ²
建築面積	4,177.94 m ²
延床面積	21,741.49 m ²
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
階数	地上14階
高さ	43.54m
住宅戸数	168戸
駐車台数	223台(自走式立体駐車場)
用途	住宅、診療所、店舗、 公益施設(子育て支援・行政窓口 地域包括支援センター・オブ・ギャリー・ クッキングルーム・会議室等)、駐車施設



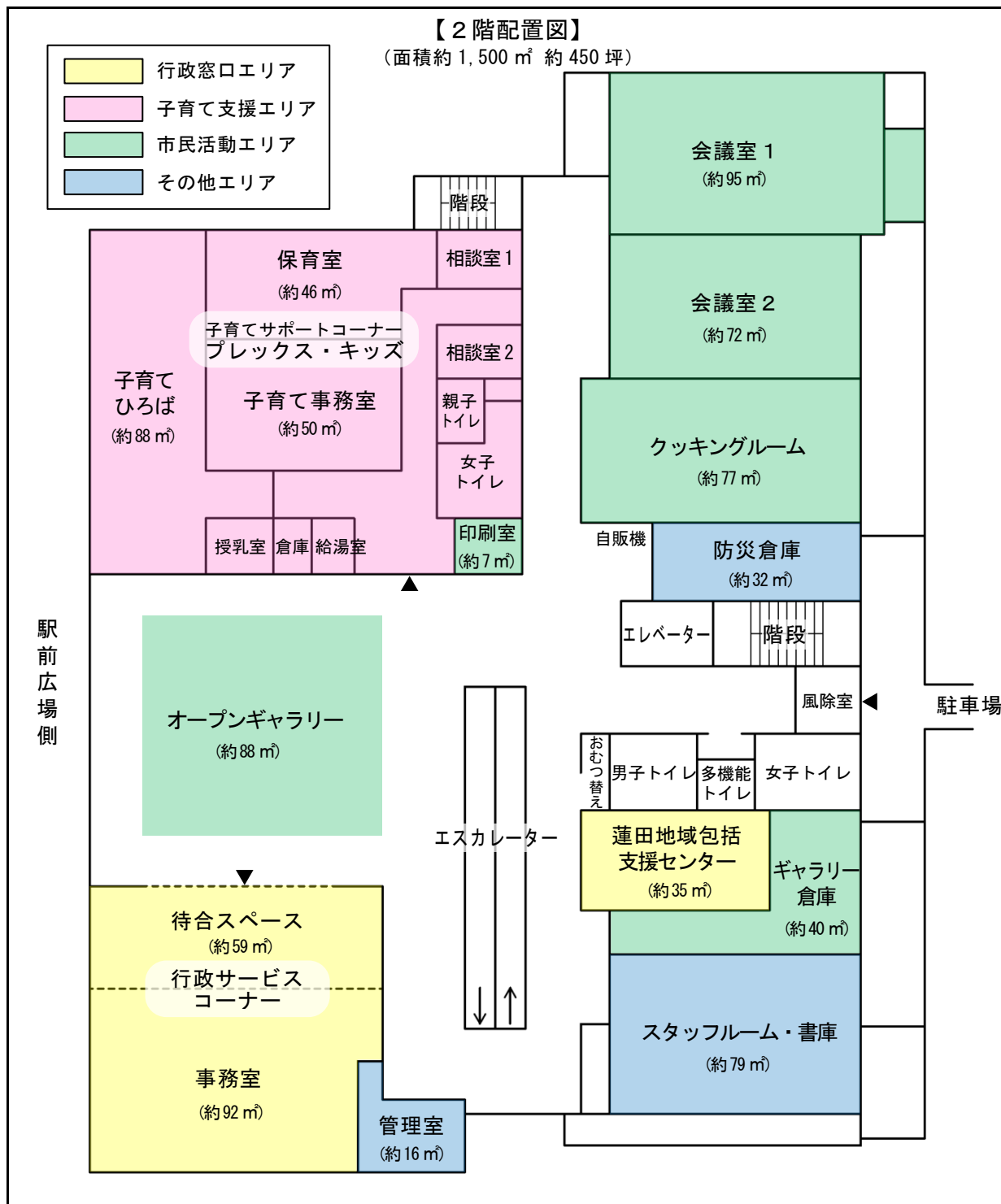
事業の整備状況



<スケジュール>



蓮田駅西口行政センター配置図



行政窓口エリア

行政サービスコーナーでは住民票や各種証明の交付のほか、転入・転出の受付や出生・婚姻などの戸籍届出、その他市役所窓口業務の一部を行っています。また、高齢者の相談窓口として「蓮田地域包括支援センター」を設置しています。

子育て支援エリア

妊娠から出産、子育ての総合窓口として、子育てひろば、保育室、子育て世代包括支援センター、ファミリー・サポート・センター、子育てコンシェルジュを集約した、子育てサポートコーナー「プレックス・キッズ」を開設しています。

市民活動エリア

オープンギャラリーでは、絵画や書道の展示が行えるほか、サークルの打合せや待合せなど、フリースペースとしてもご利用いただけます。また、さまざまな活動やセミナー等に利用できる会議室、クッキングルームを備えています。

3. 東北自動車道 新蓮田サービスエリア(上り線)及びスマートICのフルインター化について

東日本高速道路株式会社、通称ネクスコ東日本が、東北自動車道 蓮田サービスエリアの慢性的な混雑の解消や利用者の利便性の向上、交通安全対策の強化などを目的として、蓮田市川島地区周辺で平成27年2月から整備を進めてきた上り線専用の新蓮田サービスエリアが、令和元年7月29日(月)にオープンしました。

新しい蓮田サービスエリア(上り線)は、これまでの蓮田サービスエリアと比較して、小型車の駐車場が2.5倍の約350台分、大型車の駐車場が4倍の約120台分が整備されました。商業施設の規模は、従来の施設の約2倍に拡張され、「Pasar(パサール)蓮田」(上り線)として営業しています。

このサービスエリアは、一般道側から利用できる駐車場が約90台分整備され、高速道路の利用者以外のかたも商業施設を利用することができるようになっています。また、ヘリポートや防災倉庫をはじめとした、大規模災害における防災拠点化機能も備えています。

今後は、黒浜地区内にある上り線サービスエリア(閉鎖中)と下り線サービスエリアを2本の橋で接続し、下り線専用のサービスエリアに改築する計画となっています。



現在、蓮田スマートICは、普通車・軽自動車・自動二輪車限定で東京方面への入口と東京方面からの出口が利用できるようになっています。

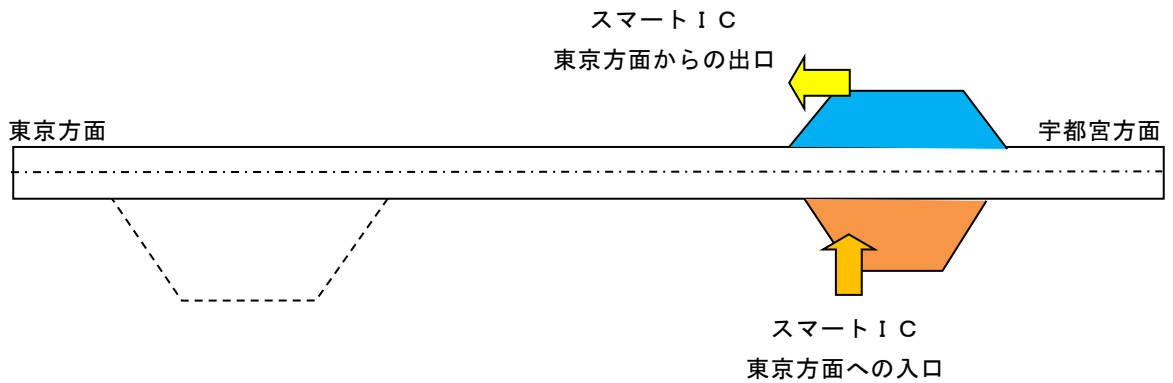
蓮田市では、ネクスコ東日本のサービスエリア改築計画に合わせ東北・宇都宮方面への入口と出口の設置と利用車種を大型車へと拡大するフルインター化の検討を国、県、ネクスコ東日本、警察などの関係機関と進めてきました。

その結果、令和元年9月20日には、蓮田サービスエリアのフルインター化について国土交通大臣から連結許可がされました。

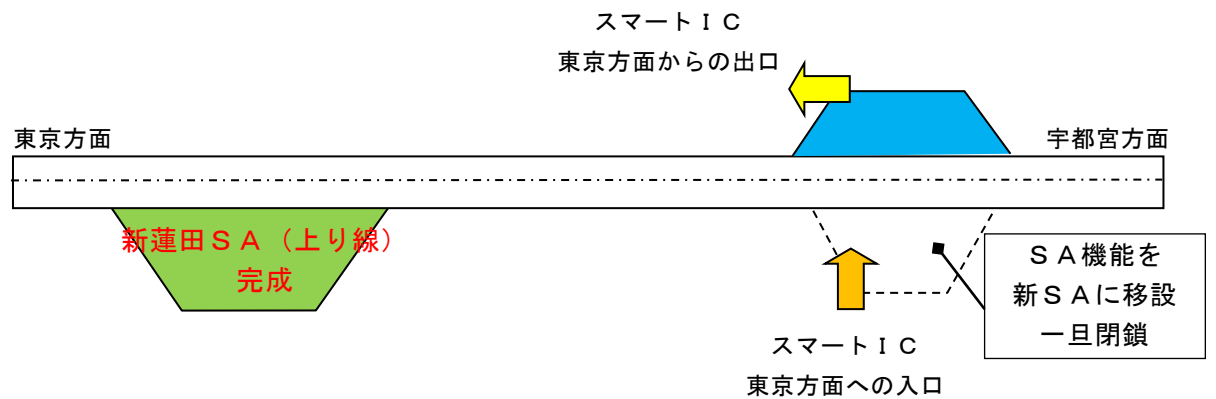
今後は、引き続き国、県、ネクスコ東日本、さいたま市、白岡市などの関係機関、地権者や市民の皆様のご理解、ご協力を得ながら、フルインター化に向け整備を進めてまいります。なお、蓮田サービスエリア(上り線)では、東京方面への入口・宇都宮方面からの出口工事の先行整備に着手しました。

蓮田SA（改築計画）・スマートIC整備（フル化計画）について

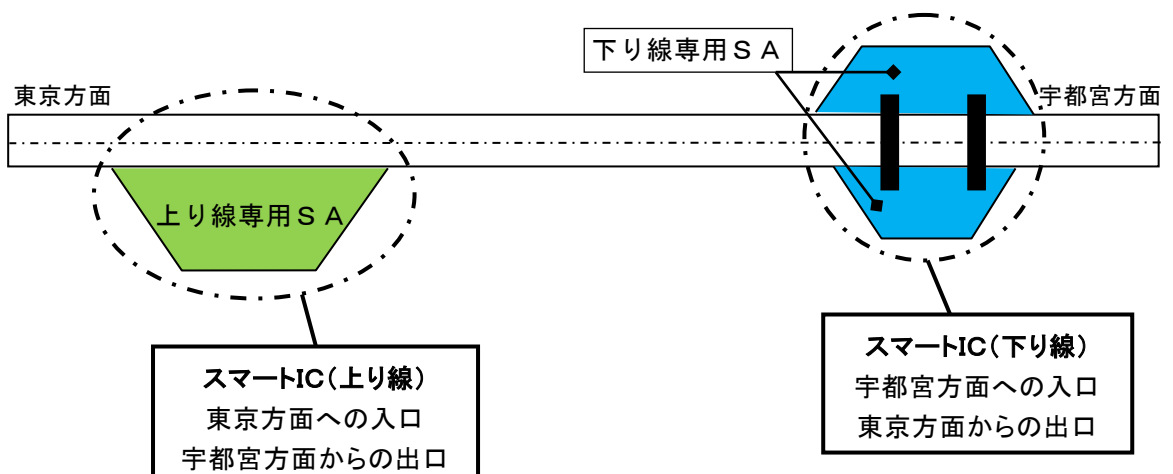
① 蓮田SA改築前



② 蓮田SA（上り線）完成 **（現在）**



③ 蓮田SA改築完了 (スマートIC完成〈最終形〉)



4. 蓮田都市計画事業(仮称)高虫西部地区土地区画整理事業について

高虫西部地区における産業団地の整備

高虫西部地区は、市の上位計画（第5次総合振興計画及び都市計画マスタープラン）において工業・流通業務系ゾーンとして位置づけられており、市が産業団地の整備を最優先で進めている地区です。現在、市街化調整区域に指定されていますが、産業団地を創出するため、区域区分の見直しを行い、市街化区域への編入を進めます。

市街化区域への編入に向けて、平成25年10月に「高虫土地利用推進協議会」が設立され、関係権利者の事業への合意形成等を進め、平成30年10月には地権者で構成される「高虫西部地区土地区画整理組合設立準備会」が結成されました。

昨年度、本事業の実現性を高めることを目的として、業務代行予定者を募集し、エム・ケー株式会社（本社所在地：東京都日野市大坂上1丁目30番地28MKビル）が選定されました。

現在、地権者組織による土地区画整理事業の認可に向けた各種調整を市・業務代行予定者及び地元準備会で役割分担のうえ、進めています。

高虫西部地区の経緯

平成19年12月 第4次総合振興計画の土地利用構想に産業集積ゾーンとして位置付け。

平成23年12月 地元自治会等から市議会へ「高虫地区に産業立地の推進に関する請願」が提出され、議員総員で可決される。

平成25年10月 「高虫土地利用推進協議会」が設立

平成30年10月 「高虫西部地区土地区画整理組合設立準備会」の結成

令和元年9～11月 準備会による土地区画整理事業業務代行予定者の募集及び決定

令和元年11～12月 県条例に基づく環境影響評価調査計画書の縦覧・説明会

令和2年3月 準備会と業務代行予定者が「土地区画整理事業の推進に係る覚書」を締結

令和3年3月～ 県環境影響評価条例に基づく現地調査

高虫西部地区 施行予定区域

施行面積：約26.3ha

区域区分：市街化調整区域（無指定地域）

農振農用：青青

農地区分：第1種農地

主要地方道 行田蓮田線バイパスの整備

産業団地整備区域内には、高虫交差点から主要地方道 川越栗橋線を結ぶ行田蓮田線のバイパス計画（幅員15m）があり、埼玉県と協議を進めています。

令和元年度にはバイパス計画のうち、蓮田市内の区間について、県と市で「高虫西部地区産業団地（工業団地）の開発に伴う主要地方道行田蓮田線バイパスの整備に関する覚書」を締結しました。

土地区画整理事業の造成工事が完了するまでの供用開始を目標とし、バイパス整備を進めていきます。



5. 蓮田駅西口通線延伸工事について

整備延長：約430m（未整備区間）
道路区分：4種2級 計画交通量：7,400～9,500台
設計速度：40km/h
道路幅員：16m（交差点部は18m） 歩道幅員：3.5m
現 状：平成30年度に事業認可取得のための説明会を開催（平成31年3月1日）
令和2年度に事業認可取得（令和2年11月2日）
今後の予定：地権者交渉の準備を進める予定

6. 県道蓮田鴻巣線歩道整備事業について

蓮田駅東口周辺地区の歩行者の安全の確保や中心商業地としての賑わいを創出するため、県道蓮田鴻巣線の第一岩槻踏切から、蓮田駅東口黒浜線の交差点まで約195mの区間の両側に2.5mの歩道を整備し、全幅員12mとします。

現 状：①平成30年4月2日に、埼玉県杉戸県土整備事務所と蓮田市で「一般県道蓮田鴻巣線歩道整備事業の事務委託に関する基本協定書」を締結
②令和2年5月1日に、埼玉県と蓮田市で「令和2年度一般県道蓮田鴻巣線歩道整備事業委託契約書」を締結し、歩道整備事業に必要な土地の取得及び物件の移転並びに登記に関する業務を蓮田市が受託
今後の予定：①蓮田市が用地買収、物件補償等を行い、歩道用地を確保
②街区単位を基本に、歩道を整備
③概ね10年間で完成することを目標に整備

※令和3年6月1日現在進捗率
買収予定面積 約759㎡中 買収済面積 約220㎡（約29%）

7. 県道蓮田杉戸線整備事業について

現在、埼玉県杉戸県土整備事務所が主体となり、蓮田駅東口駅前広場入口の交差点から、黒浜小学校付近の県道蓮田杉戸線に至るまで、新設道路整備事業を進めています。

整備延長：約580m（全体計画 約1,940m 整備済み区間 約1,360m）
道路区分：4種2級
設計速度：40km/h
道路幅員：14m 車道幅員：7m 歩道幅員：3.5m
現 状：埼玉県が、藤ノ木坂交差点から未整備区間の用地買収を進めており、現在の取得率は8割強
今後の予定：継続して用地買収を進める予定

8. 東埼玉病院周辺について

・市道1463号線等整備事業

現在、県道蓮田杉戸線から東埼玉病院敷地内を通り、蓮田松韻高等学校へ抜ける新設道路の整備事業を進めています。

整備延長：約720m

道路区分：3種4級

設計速度：40km/h

道路幅員：12m 車道幅員：7m 歩道幅員：2.5m

現 状：平成30年度より東埼玉病院敷地内の新設道路（市道1472号線）の工事を開始。令和2年度までに約320メートルの築造工事が完成した。

今後の予定：令和3年度以降は、設計・協議・道路築造工事を継続して進める予定

平成29年度に黒浜公園・東埼玉病院周辺整備基本計画を策定し、黒浜公園の再整備を行うとともに、東埼玉病院敷地の一部と財務省所有地、黒浜日野手緑地を含めた大規模な公園の整備を予定しております。現在、計画の実現に向け、財務省および東埼玉病院との土地利用計画を含めた協議を進めております。

9. 蓮田松韻高校までのバス路線の延伸について

現在、蓮田松韻高校へのアクセスは、朝日バスの東埼玉病院バス停が最寄りとなっております。東埼玉病院行きのバスは、蓮田駅東口から平日は49本、休日は39本運行されており、蓮田松韻高校の生徒にも多く利用されています。しかし、東埼玉病院バス停から蓮田松韻高校までは、徒歩で約8分かかります。

平成28年7月21日には、蓮田松韻高校から、バス路線の延伸、新たな道路整備、夜間照明の増設を求める要望書をいただきました。

これを受け、市では現在、東埼玉病院敷地内に新設道路（市道1472号線）の整備を進めています。また、黒浜公園・東埼玉病院周辺整備基本計画において、バス転回場の整備も計画しています。今後は、道路整備の進捗を見ながら、朝日自動車（株）と蓮田松韻高校までのバス路線延伸に向けた協議を進めていきます。

10. ほ場整備事業「県営」 閩戸地区の概要

事業の目的

本地区は蓮田市の中西部に位置し、西側を一級河川綾瀬川と東側を見沼代用水に囲まれた地区面積38.5haの水田地帯です。

地区内の農地は昭和8年～11年に耕地整理により10a区画に整備されたが、現在の農業機械では区画や道路が狭く、ほ場内の用排水路の大半は用排分離されているものの土水路で、用水の適正な配分や排水の流出に支障を来している状況にあります。また、農業者の高齢化や後継者不足に伴い、農地の維持保全が困難な状況となっています。

そのため、地域の将来像を描いた営農ビジョンにもとづき、農地中間管理事業と連携を図りながら、担い手への農地集積に必要な基盤整備を迅速に行う埼玉型ほ場整備事業を実施し、農業競争力の強化を図っております。



【整備後】



事業の概要

- 事業名：ほ場整備事業（埼玉型）
- 受益面積：34.0ha(水田：32.0ha 畑：2.0ha)
- 総事業費：370,700千円（事務費抜き）工事雑費 4,200千円,事務費 18,500千円
- 事業期間：平成29年度～令和2年度
- 負担区分：国50%、県27.5%、市22.5%、地元0%*
- 全体事業量：ほ場整備工 A=38.5ha、農業用排水施設 L=10.5km、農作業道 L=4.2km
- 令和元年度：ほ場整備工 A=21.1ha 156,000千円
- 進捗率：100%(令和2年5月29日 工事完了)

関係市及び土地改良組合

- ・蓮田市
- ・閩戸土地改良組合

事業の実施状況

総事業費	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度 (R元年度からの繰越)
ほ場整備工 A=38.5ha	実施設計、 用地測量等	ほ場整備工 A=21.3ha	ほ場整備工 A=14.2ha	ほ場整備工 A=6.9ha
370,700千円	79,700千円	135,000千円	88,983千円	67,017千円
進捗率(累計)	21.4%	57.9%	81.9%	100.0%

※地元負担0%について …… 道路、用排水路の用地を所有者が寄付採納し、12.5%の地元の負担分は市が負担する方法で事業を行った。

1 1. 蓮田市役所西棟新築工事について

建設に至る経緯

- ・シルバー人材センターの旧事務所は、関山3丁目にある旧福祉事務所を使用していたが、耐震基準を満たしていないため建て替えが必要となった。
- ・関係各課で構成する庁内検討会議を設置し、移転を含め、場所の選定等の検討を行い、市役所庁舎西側敷地への移転に決定した。
- ・この検討会議において、建築における基本計画を作成。庁舎敷地内であるため、市役所会議室および倉庫棟併用の建物とすること、同所に駐車場整備も行う等の基本計画となった。

蓮田市役所西棟新築工事の概要

- ・平成30年度の事業として同所の樹木伐採及び文化財発掘調査を実施した。また、建物の実施設計を行った。
- ・令和元年5月に入札を執行し、工事を開始した。令和2年3月に工事が完了し、引き渡された。
- ・駐車場整備による駐車台数は、来客駐車場を含め47台を整備した。
- ・建物の名称は「蓮田市役所 西棟」に決定した。

建物の概要

＜建築費＞ 建築 318,890,000 円、機械 41,052,000 円、電気 29,568,000 円
鉄筋コンクリート造、2階建て、切妻屋根、エレベーター完備
建築延床面積 合計約783㎡（シルバー人材センター事務所部分約270㎡、市役所会議室及び書庫等倉庫部分約320㎡、共有部分約193㎡）



12. 保育園の建設、こども医療費の助成

市では、保育園の待機児童の解消を図るため、公立保育園の新設や改築について計画的に取り組むとともに、民間活力を活用し、学校法人や社会福祉法人が行う保育園の整備費の一部や開園後の施設の運営費に対し補助金を交付しています。

また、子どもが必要とする医療を容易に受けられるようにするため、満18歳の年度末までの入院・通院にかかる保険診療分の一部負担金を助成しています。

※認定こども園とは教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育園の両方の良さをあわせ持つ施設です。

保育園の建設

① 蓮田ねがやど保育園

- 所在地 蓮田 4-79
- 建物概要
1階建、延床面積 627.70 m²
- 定員 90名
- 開園 平成22年5月1日



② 認定こども園しらゆり

- 運営主体 学校法人 慶和学園
- 所在地 御前橋 1-5-5
- 建物概要
3階建、延床面積 1490.79 m²
- 定員
幼稚園 60名
保育園 90名
- 開園 平成26年4月1日



③ 花星こども園（旧花星保育園）

- 運営主体 社会福祉法人 ^{のあ}希空
 - 所在地 閏戸 2796
 - 建物概要
2階建、延床面積 644.50 m²
 - 定員 78名
 - 開園 平成28年4月1日
- ※令和3年4月1日、認定こども園へ移行。移行後の定員は、
- 幼稚園 6名
 - 保育園 77名



④ 蓮田みぬま保育園

●所在地 見沼町 4-3

●建物概要

2階建、延床面積 756.00 m²

●定員 80名

●開園 平成28年10月11日

※中央保育園の改築中は代替園舎として利用し、平成30年4月から新園として開園しました。



⑤ 中央保育園

●所在地 上 2-11-2

●建物概要

2階建、延床面積 766.00 m²

●定員 90名

●開園 平成30年4月1日

※保育室のほか、一時保育室、子育て支援センターも整備しました。



⑥ 東保育園

●所在地 東 5-8-32

●建物概要

【保育室棟】

2階建、延床面積 446.40 m²

保育室（0～5歳児）、一時保育室

【事務室棟】

2階建、延床面積 75.61 m²

●定員 65名

●開園 平成31年4月1日

※保育室のほか、一時保育室も整備しました。



⑦ とねの会はすだ保育園

●運営主体 社会福祉法人とねの会

●所在地 蓮田 3-141

●建物概要

2階建、延床面積 約 788 m²

●定員 72名

●開園 令和2年4月1日

※保育室のほか、一時保育室、子育て支援センターを併設。



⑧ (仮称) 星の子ルチア保育園

- 運営主体 社会福祉法人彩恵会
- 所在地 馬込1-68
- 建物概要
2階建、延床面積 約783.41㎡
- 定員 90名
- 開園 令和4年4月1日(予定)



こども医療費の助成

- 対象 満18歳の年度末までの入院・通院にかかる保険診療分の一部負担金(高額療養費等他の制度から支給されるものを除く)
- 事業費 201,744千円
うち、県費25,405千円(就学前児童分のみ)
- 制度改正 令和3年1月診療分から、こどもの対象を満18歳に達する日以後の最初の3月31日までにある者に拡大

13. 小・中学校の状況

蓮田市の小・中学生の学力は県内上位

○令和2年度の全国学力・学習状況調査

新型コロナウイルス感染症にかかるその後の状況及び学校教育への影響等を考慮し、令和2年度は実施しないこととなりました。

○令和2年度の埼玉県学力・学習状況調査

小学校4年生から6年生の国語、算数、中学校全学年の国語、数学、英語のすべてで県の平均を上回りました。特に、小学校5・6年生の国語、中学校3年生の国語と英語は、県の平均を大きく上回っていました。

小・中学校校舎等耐震化について

学校施設の耐震化を最優先に取り組み、平成27年度にすべて完了しました。

●整備棟数 小・中学校合計 33棟

小学校21棟（校舎13棟・体育館5棟・給食棟3棟）[平成12～27年度]

中学校12棟（校舎8棟・体育館4棟）[平成19～26年度]

●事業費 小学校 1,413,636千円

中学校 1,137,497千円 合計 2,551,133千円

小・中学校普通教室にエアコン設置

小・中学校の普通教室にリース方式でエアコンを設置し、児童生徒の快適な学習環境を整え、平成29年6月から全校一斉稼働しました。

●設置教室数: 180教室（小学校8校 120教室 中学校5校 60教室）

●空調設備借上料 令和3年度予算 39,788千円

（小学校 26,918千円 中学校 12,870千円）

リース期間10年間 平成29年6月から令和9年5月まで

〈参考〉契約金額：397,872千円



室内機



室外機

14. 国指定史跡黒浜貝塚の整備について

黒浜貝塚は学事史上著名であり、南関東の自然環境の変遷や当時の生業を考える上で重要であるとともに、集落の構造は、中期以降顕著となる環状集落の萌芽とも見られ、集落の変遷を考える上でも貴重であるとして、平成18年に国史跡に指定されました。

また、関東地方を中心とした約5,500年前の縄文時代前期中葉「黒浜式土器」の標式遺跡として有名な遺跡のひとつです。

黒浜貝塚は市街化区域に立地し、蓮田市役所南側に隣接した豊かな自然を残した場所で、史跡として指定された面積は、50,183.49㎡、市役所を一体とした総面積は約74,000㎡。この遺跡は、縄文時代の集落として窪地状広場の造成、貝採集のための硬砂層の利用等、縄文人の具体的な行動様式などを知ることができる貴重な歴史遺産として存在しています。

黒浜貝塚は市役所に隣接することから、貴重な歴史遺産、自然環境学習の場として活用するだけでなく、ウォーキングや自然散策の場として市民憩いの健康づくりゾーンともなります。また、市役所と一体として活用することにより、市民協働の拠点など多方面にわたる様々な活動の場所となると考えています。

現 状

平成27年度	椿山のムラの竹林の伐採、縄文の森の復元、住居の表示、園路の造成が完了
平成28年度	椿山のムラと宿浦のムラを連絡する擬木橋の設置、水辺の生活の場エリアの浚渫と水の流れの確保、樹木の植栽が完了
平成29年度	低地の生活の場エリアの一部と縄文の海エリアの工事が完了
平成30年度	宿浦のムラの造成、低地の生活の場エリアの園路路盤造成等が完了
令和元年度	トイレ建築、案内・解説板の設置、展示館内ガイダンスシステムの構築が完了
令和2年度	一部の園路舗装、史跡内ARアプリケーションの作成が完了
令和3年度	一部の園路舗装を実施予定

今後の進め方

- 引き続き、文化庁および埼玉県と協議を進め、早期完成を目指し取り組んでいく。



平成27年市民植樹風景
(2015.10.10)

※整備途中での整備状況公開、市民植樹を各年度実施予定です

4号住居跡から発見された貝塚



※将来的に3D写真などに活用する予定です

文化財展示館



※縄文人が活動するイメージ画像や縄文海進の3D画像は、文化財展示館で貸出を行う予定です

凡例

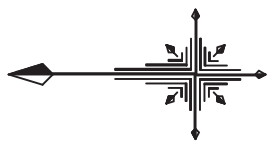
- ★ ARポイント
- ▲ 出入口
- 遊歩道(舗装園路)
- 自然歩道(未舗装園路)
- 既存樹木
- 新植樹木



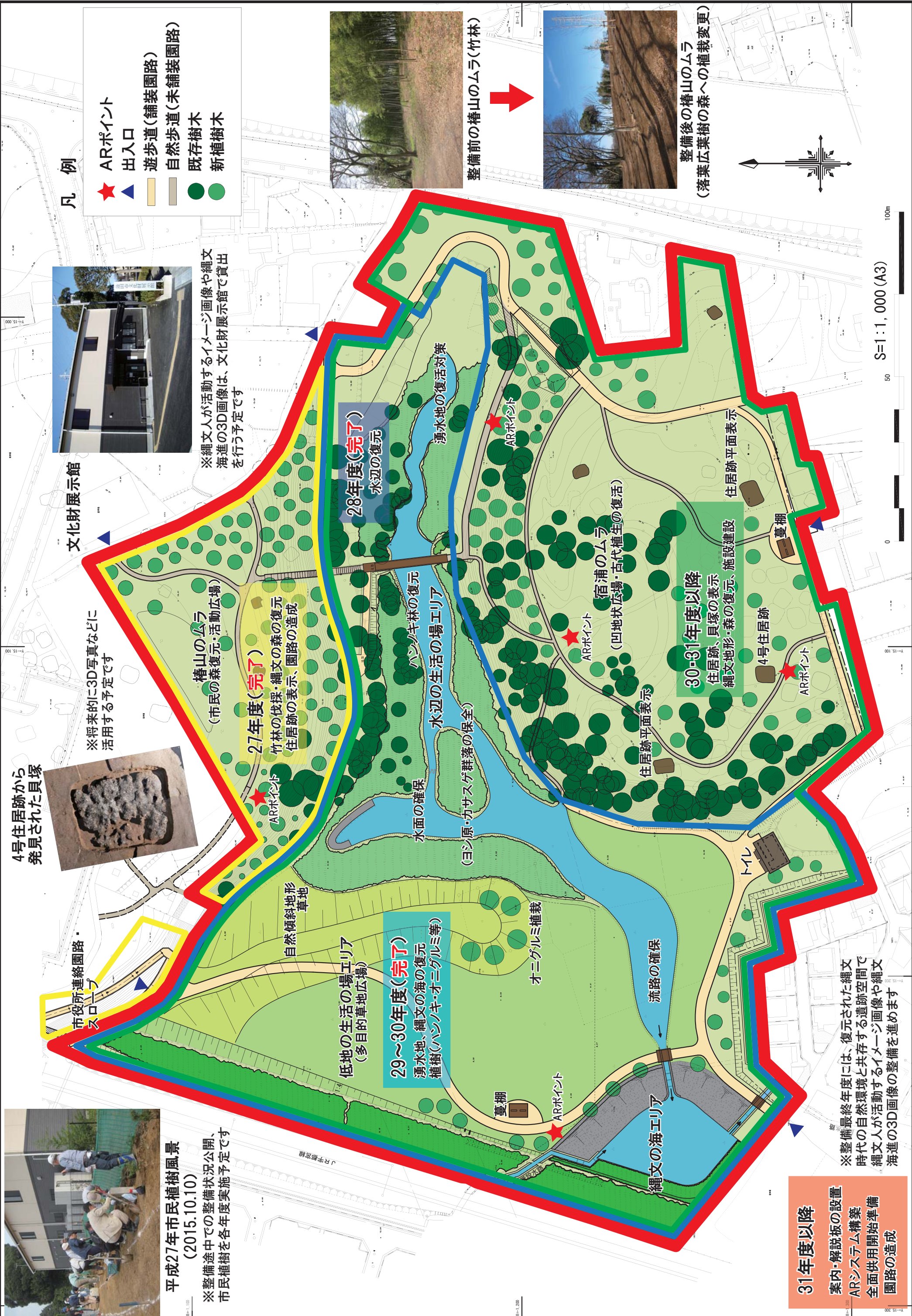
整備前の榎山のムラ(竹林)



整備後の榎山のムラ
(落葉広葉樹の森への植栽変更)



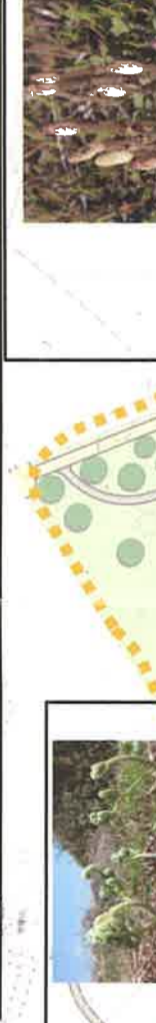
0 50 100m
S=1:1,000 (A3)



黒浜貝塚：縄文の森復元計画（案）

椿山のムラエリア（斜面林含む）

現状	・モウソウ竹林が繁茂し、南側斜面にはクスギ、エノキを主とした落葉樹林が成育。
植生変更	・縄文の森の復元。斜面部はコナラ亜属を主体とした落葉広葉樹林の植栽。「黒浜貝塚低地部地質調査及び自然科学分析業務委託 H20」より「アカマツ林」を連続する森として、アカマツの植林を行う。 ・市民参加による苗木の植栽や市民による「ドングリの森」の育成管理。また、植物で「学び」のできる植生の展開。
新植樹種等	【高木】クリ・コナラ・ケヤキ・ムクノキ・トチノキ・アカマツ・カエデ類・エゴノキ・シイノキ等 クリ 【中低木・地被】ヤブツバキ・サザンカ・グミ・ガクアジサイ・カタクリ等 【食用下草類】ワラビ・ゼンマイ・フキ・ツクシ・タラノキ・ヤマノイモ（ムカゴ）・ウド等



ツクシ

カタクリ

ワラビ

オミナエシ

ノビル

ヨモギ

ヤマハギ

ニシキギ

ガクアジサイ

カエデ

シイノキ

ケヤキ

コナラ

クリ

ムクノキ

トチノキ

アカマツ

カエデ

ガクアジサイ

カタクリ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

ツクシ

タラノキ

ヤマノイモ

ムカゴ

ウド

ワラビ

ゼンマイ

フキ

15. 蓮田市総合文化会館ハストピアの概要

文化活動の拠点施設となる、蓮田市総合文化会館ハストピアは、平成28年10月15日に開館し、多くの方々にご利用いただいています。

【ハストピア外観写真】



【ホール写真（客席）】



【ホール写真（舞台・反響板有り）】



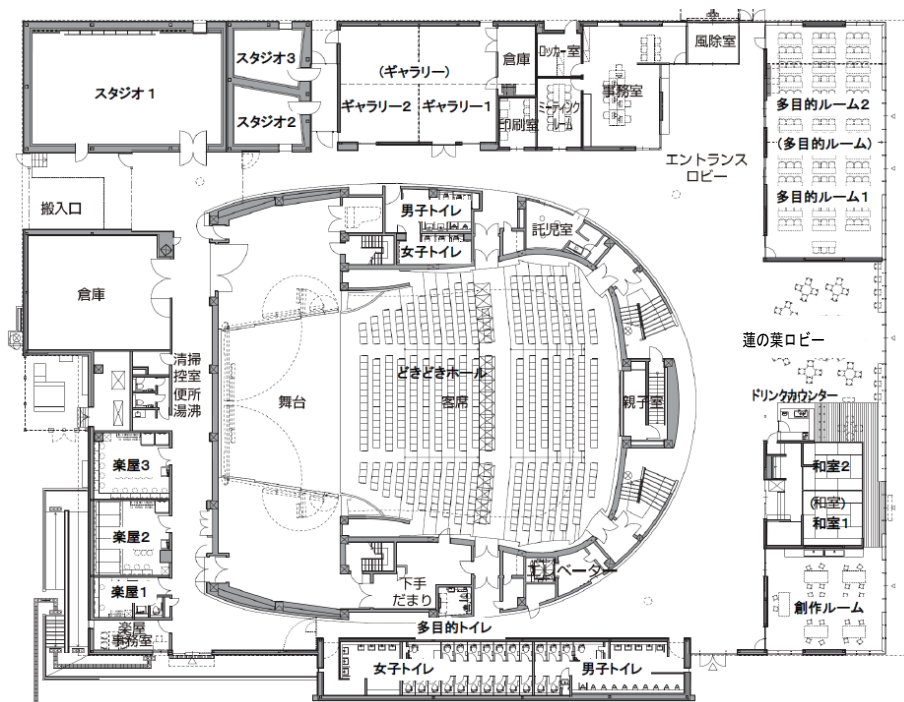
●ハストピア事業

報告「第2回ハストピアアートプロジェクト」大盛況！
 “どきどきアート空間2020”2020年1月25日(土)・26日(日)

アートラボブース みんなのステージ
 演劇講座 アートの広場 ギャラリー展示

はすとぴあ通信 Vol. 11 より

【1階平面図】



【建築概要】

建築面積	3216.58㎡
延床面積	4149.02㎡
構 造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 3階建て
ホ ー ル	634席 1階513席、車いす席2席（最大18席） 2階119席（ベンチ式）
諸 室	多目的ルーム、和室、ギャラリー、創作ルーム、スタジオ3室、楽屋3室

16. 街路灯 LED 化について

市が管理している街路灯 5,997 基のうち LED 照明になっているものは、5,512 基^{※1}で LED 化率は 91.9 パーセントとなっております。LED は省電力・長寿命であることから、街路灯を LED 化することにより、電気料金及び球切れによる修繕料などの維持管理費が大幅に削減できるものです。また、併せて二酸化炭素排出量の削減にもつながります。

平成 29 年度には、4,883 基をリース方式による LED 照明に切り替えました。平成 30 年 2 月に交換工事が完了し、3 月から 10 年間のリース方式による維持管理を開始しています。

今後におきましても、安心安全なまちづくりを推進してまいります。

《リース方式による街路灯 LED 化の概要》

●設置数 4,883 基

●LED 街路灯借上料 令和 3 年度予算 7,862 千円

リース期間 10 年間 平成 30 年 3 月 1 日から令和 10 年 2 月 29 日まで

リース期間満了後、市へ無償譲渡

契約金額 79,257 千円



蛍光灯



LED

《LED 設置実績》

年度	市施工による新規設置数	リース方式による設置数
平成 28 年度まで	429 基	0 基
平成 29 年度	24 基	4,883 基
平成 30 年度	44 基	0 基
令和元年度	43 基	0 基
令和 2 年度	45 基	0 基

※1 街路灯の数には、移管や寄付による 44 基の LED 照明の街路灯が含まれています。

17. 在宅医療・在宅介護事業の推進

蓮田市の高齢化率（総人口に占める65歳以上の割合）は、直近の令和3年6月1日現在で32.0%。高齢者がいつまでも住み慣れた地域で暮らせるよう地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。地域包括ケアシステムの中核機関としての役割を担う地域包括支援センターは、令和3年度から、蓮田駅西口行政センター内に1か所増設しました。日常生活圏域（蓮田、黒浜、閨戸・平野）の3か所に設置し、取組みを強化してまいります。

介護予防のDVDと冊子を作成しました

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、高齢者の介護予防に取り組む、集団教室を開催することができませんでした。それに替わる取組みとして、自宅でも気軽に介護予防に取り組めるように、はすぴい元気体操・介護予防体操のDVDと、新しい生活様式を取り入れた暮らしの中での介護予防の“ひと工夫”をまとめた冊子を作成し、配布しています。

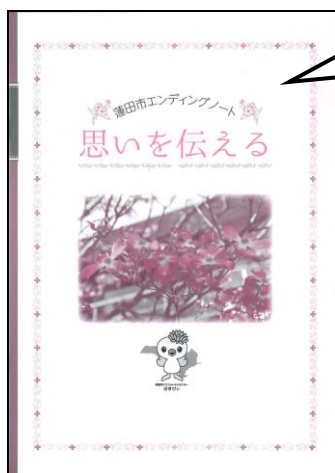
市民のかたの介護予防の取組みを支援します。
※広報はすだ3月号に掲載しています。



市民のかたの理解が深まるような取組みを進めます

在宅医療・介護についての『出前講座』を自治会や地域のグループ等10人以上の団体に向けて行っています。令和元年度に作成した蓮田市オリジナルのエンディングノート「思いを伝える」を活用したACP（アドバンス・ケア・プランニング＝人生会議）の普及啓発のため、市内公共施設・集会所等で説明会や出前講座などを開催し、説明を加えながら配布を行っています。

また、市内の医療・介護資源についてのデータをまとめた『在宅医療連携ガイド』を毎年更新し、3月に公表しています。



告知や延命治療の希望、財産のことなど解説を見ながら整理できます。意思決定が難しくなった時に備え、家族や大切な人と話し合うきっかけとしてご利用いただくことを願っています。



「訪問診療してくれる医療機関は？」「24時間対応してくれる訪問看護ステーションは？」などの情報をまとめ、市民を支える専門職のかたに配布しています。ホームページにも掲載しています。

18. 山ノ神沼周辺について

山ノ神沼東側については平成 21 年度をもって整備が完了しており、市は自然環境の保全の観点から、残りの用地取得のため、土地所有者との交渉を継続しております。令和2年5月に個人所有地の一部についての不動産鑑定を行い、その鑑定結果をもとに用地取得に向けた交渉に当たっております。令和2年12月補正予算には山ノ神沼用地取得費を計上し、可決されたのを受けて、令和3年1月に土地所有者と土地売買に関する仮契約を締結しました。その後、公有地の拡大の推進に関する法律に関する手続きを経て、令和3年第1回臨時会に財産の取得についての議案を提出し可決されました。これにより、令和3年3月31日付で土地売買に関する契約を締結し、沼の底地約 8,600 m²の用地取得が完了しました。

今後は残りの民有地の取得を進めるとともに、山ノ神沼の貴重な水辺空間を保全・活用するため、周辺一帯の整備について検討してまいります。

一方で、長年にわたり山ノ神沼の水質浄化などの環境改善に取り組んでいた「山ノ神沼を守る会」が、令和2年度をもって解散となりました。

19. 黒浜沼周辺の整備について

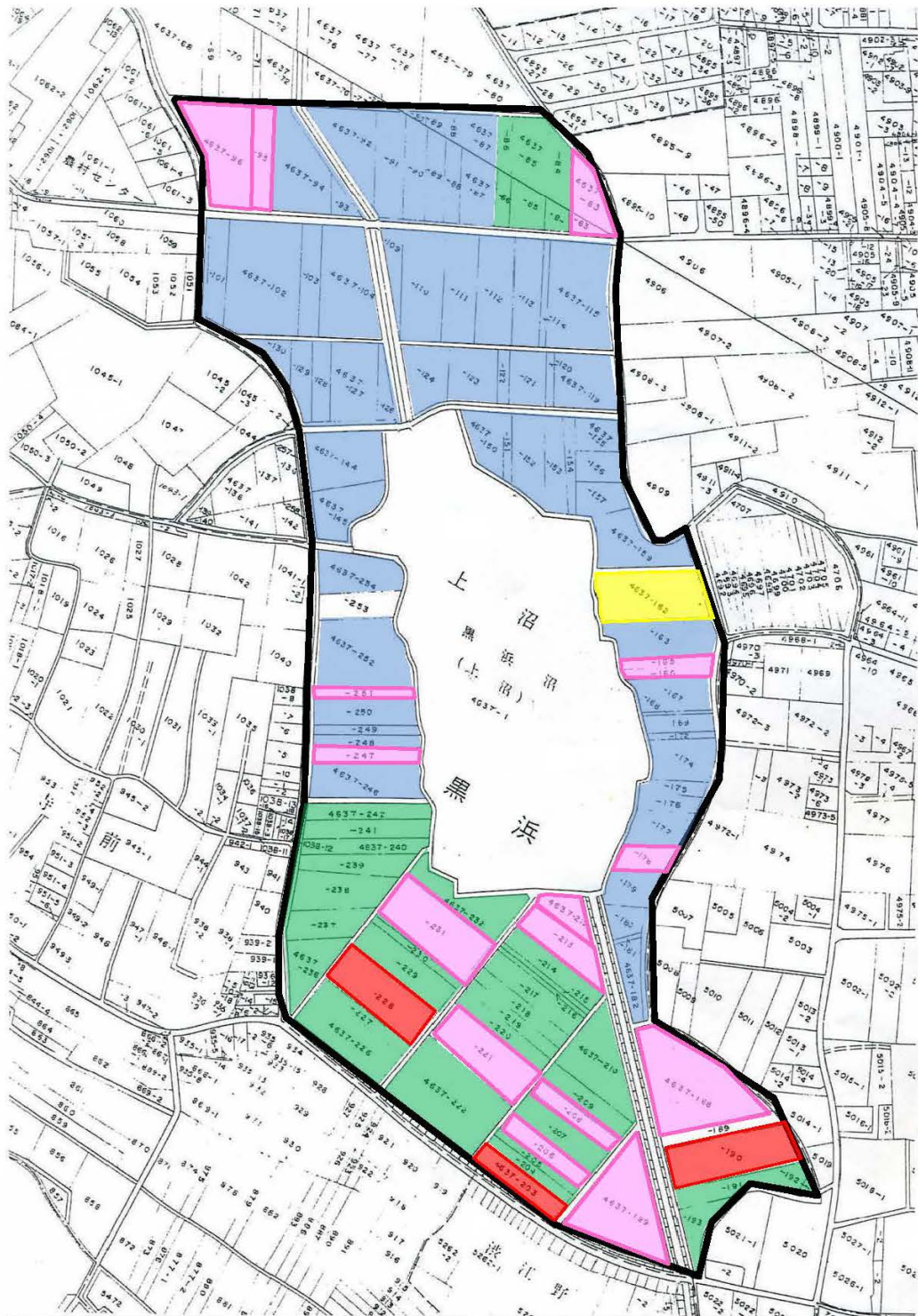
平成21年度に緑のトラスト保全第11号地として指定がなされ、トラスト保全地エリア内 87,606 m²のうち、71,589 m² (81.7%・埼玉県と蓮田市の合計) の取得が済んでおります。令和元年度に、残っていた 16,017 m²のうち 15,124 m²について、地権者との土地売買契約を行い、所有権移転登記が完了いたしました。

現地では公益社団法人さいたま緑のトラスト協会や特定非営利活動法人黒浜沼周辺の自然を大切に作る会などの関係団体による保全管理が行われており、沼の南側では、黒浜沼周辺地権者の方々と協力し、田園風景を維持するため稲作が行われております。

平成20年頃からは、ミシシippアカミミガメの大量発生、また平成 25 年頃からは、ハスの消失など、自然環境の悪化（ヘドロの堆積、特定外来生物の発生等）が進み、この他にも、乾燥化による動植物の生態系の変化なども見られます。

今後は、数々の問題への対応策を関係団体と協議し、市も積極的に現場管理や情報発信に努め、地元住民の方だけでなく、遠方より訪れる方々が快適に利用できるよう、環境改善と施設整備に努めてまいりたいと思います。

緑のトラスト保全第11号地 買収地



 青	平成21年度 埼玉県取得地 44,687㎡
 緑	平成21年度 蓮田市取得地 21,599㎡
 赤	平成22年度 蓮田市取得地 3,744㎡
 黄	平成27年度 蓮田市取得地 1,559㎡
 桃	令和元年度 蓮田市取得地 15,124㎡
 白	令和2年度時点で未買収の土地 893㎡

20. 環境学習館Ⅱ期工事について

昭和49年に地域交流施設の黒浜農村センター（鉄骨造2階建て、396㎡）を開設しました。環境の保全に関する活動を支援するとともに、環境学習及び情報の発信の拠点とし、地域に根ざした新しいコミュニティ形成を促進するため、平成16年に環境学習館として新たにオープンしました。その後、平成25年に実施された耐震診断において耐震性が著しく低い事が分かったため取り壊し、平成26年に現在の環境学習館が誕生しました。

現在の環境学習館（軽量鉄骨造平屋建て134.27㎡）は、平成20年に指定された埼玉県緑のトラスト11号地も近いので、市内だけでなく県内各地から人々が訪れております。今後、益々活用が期待されておりますが、建物内に研修室兼会議室が1部屋しか無く、十分にその機能を発揮出来ておりません。そのため、周辺用地を買収して敷地を拡張し、コミュニティ施設の要素を兼ね備えた複合施設とした環境学習館とすべく、建設計画を進めておりました。令和3年1月には、拡張敷地全ての用地取得が完了しました。現在は、令和4年度の着工に向けて設計等を進めており、令和3年6月には環境学習館建設等検討委員会が設置されました。

新たな環境学習館は、黒浜沼をはじめとする市内に生息している生きものや生態系が学習できるほか、市の自然環境や環境問題などについても学ぶことができるようになります。また「ふれあいの場」として地域の人々や各種団体が身近に、手軽に、そして多目的に利用できる地域コミュニティづくりの場ともする計画です。加えて、地域の人々の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため、各種教養講座、趣味講座、実用講座、イベントなどを開催できるような施設内容を考えております。



21. はなみずき作業所新築計画

昭和54年度に建築した施設は老朽化しており、利用者の安全性も考慮して施設を建て替える予定です。平成30年12月に、借地として使用しておりました施設敷地(2,059.37㎡)を、所有者から購入しました。

施設規模は、現在利用している施設や市内の他施設等を参考に、レイアウトや構造等を検討するため、令和3年3月に基本計画を策定しました。令和3年度には、作業所建替えのための設計を行います。

22. 上野東京ラインの開業について

平成27年3月14日のダイヤ改正に伴い、JR宇都宮線の始発電車が5時50分から7分早まり、5時43分になりました。同時に、東海道線直通の上野東京ラインが開業し、熱海方面まで、相互直通運転が開始されました。

また、平成28年3月26日のダイヤ改正では、湘南新宿ライン下り最終電車(高崎線乗り入れ)の大宮駅到着を2分早め、宇都宮線下り最終電車の大宮駅出発を2分遅らせることにより、大宮駅での乗り換えが可能になりました。

引き続き宇都宮線の運行時間の拡大等、利便性の向上に取り組んでまいります。



23. 蓮田市の財政状況

● 人口

	平成20年4月1日現在	平成25年4月1日現在	令和3年4月1日現在
計	64,028 人	63,321 人	61,761 人
14歳以下	8,015 人 (12.5%)	7,601 人 (12.0%)	6,703 人 (10.9%)
15歳～64歳	42,876 人 (67.0%)	39,282 人 (62.0%)	35,283 人 (57.1%)
65歳以上	13,137 人 (20.5%)	16,438 人 (26.0%)	19,775 人 (32.0%)

● 財政（一般会計歳入歳出決算額の主なもの）

（単位：千円）

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
歳入総額	18,861,732	20,876,267	18,360,236	20,248,639	19,295,438	20,355,556
市税 （個人市民税）	8,066,685 (3,693,830)	8,006,544 (3,653,588)	8,061,976 (3,709,244)	8,296,958 (3,738,777)	8,155,943 (3,714,767)	8,174,861 (3,694,085)
地方譲与税	144,997	151,881	150,559	150,100	151,255	153,219
地方交付税	2,190,723	2,285,308	2,284,902	2,266,017	2,241,127	2,363,965
市債 （臨時財政対策債）	1,631,075 (1,128,575)	1,982,706 (1,004,206)	1,002,629 (855,729)	1,049,933 (935,233)	997,782 (891,782)	1,212,206 (774,706)
人件費	3,690,308	3,632,719	3,595,619	3,713,553	3,739,171	3,737,380
扶助費	3,686,407	3,859,256	4,153,587	4,004,165	4,087,165	4,183,908
補助費等	1,327,339	1,328,807	1,268,070	1,307,264	1,382,414	2,248,672
公債費	1,587,038	1,492,176	1,548,084	1,563,801	1,540,027	1,445,729
繰出金	2,286,677	2,412,581	2,502,461	4,199,246	2,954,165	2,842,627
普通建設事業費	2,648,895	4,053,587	1,404,852	1,239,756	1,616,890	1,708,722

● 財政指標（普通会計決算）

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
財政力指数	0.769	0.772	0.771	0.771	0.774	0.773
経常収支比率	87.2%	84.6%	87.9%	87.7%	90.2%	91.3%
人件費比率	20.7%	18.4%	20.7%	19.6%	20.4%	19.4%
実質公債費比率	6.4%	5.3%	5.4%	5.5%	5.7%	5.6%
将来負担比率	16.4%	26.7%	15.8%	4.5%	—	17.9%
地方債現在高（千円）	15,496,895	16,115,026	15,676,196	15,246,049	14,772,325	14,593,063

※平成30年度将来負担比率…充当可能額が将来負担額よりも多いため算定されず、「—」と表示しています。

● 基金残高

（単位：千円）

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
財政調整基金	1,474,530	1,360,602	1,408,593	1,663,757	1,863,821	1,644,628
公共施設等整備基金	1,632,506	973,565	1,393,756	1,623,820	1,295,984	471,085

● 特別会計（歳入決算額）

（単位：千円）

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
国民健康保険	7,939,183	8,740,900	8,709,915	8,789,881	7,151,575	6,519,058
後期高齢者医療	704,872	737,882	785,806	854,215	888,494	939,167
介護保険	3,893,355	4,215,557	4,533,064	4,797,117	4,949,302	5,179,070
下水道事業	1,271,009	1,352,142	1,324,341	1,299,781	1,380,924	
農業集落排水事業	176,555	176,006	203,460	196,636	207,904	
馬込下蓮田土地 区画整理事業	74,434	79,151	71,557	55,940		
黒浜土地 区画整理事業	227,533	240,074	199,942	238,972	25,088	18,450
蓮田駅西口第一種 市街地再開発事業	150,223	156,399	142,403	1,773,562	564,354	1,473,015
合計	14,437,164	15,698,111	15,970,488	18,006,104	15,167,641	14,128,760

● 公営企業

（単位：千円）

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
水道事業	収益的収入	1,176,639	1,207,362	1,186,953	1,251,395	1,326,742	1,319,041
	収益的支出	1,119,852	1,156,422	1,113,942	1,118,330	1,152,005	1,152,006
	資本的収入	85,696	77,379	139,038	81,282	231,598	230,299
	資本的支出	302,403	264,065	433,434	338,598	475,261	448,478
下水道事業	収益的収入						1,312,021
	収益的支出						1,218,353
	資本的収入						649,008
	資本的支出						860,567

【参考】財政指標の解説

財政力指数	財政基盤の強さを示す指標。 標準的な行政活動を行う財源をどのくらい自力で調達できるかを示し、この数値が「1」に近く、あるいは「1」を超えるほど財源に余裕があることになる。
経常収支比率	財政構造の弾力性を判断する指標。 人件費、物件費、公債費等の経常的経費に、市税、地方交付税など経常的収入の一般財源がどの程度充当されているかを示し、この数値が低いほど財政構造に弾力性があることになる。
人件費比率	歳出総額中に占める人件費の割合を示す指標。 この数値が低いほど財政運営に弾力性があることになる。
実質公債費比率	実質的な公債費（地方債の元利償還金）が財政に及ぼす負担を表す指標。 地方税、普通交付税のように用途が特定されていない経常的に収入される財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰出金など公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額に充当されたものの占める割合。この数値が低いほど、財政構造の弾力性があることになる。
将来負担比率	市債や退職手当など将来払わなければならない金額が、市の財政規模に対してどの程度のものかを表す指標。 比率が低いほど財政状況が健全なことになる。